

〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1

～水産資源管理、環境変動等の研究協力、若手人材育成などに大きな期待～  
**水産総合研究センター×横国大が包括連携協定を締結**

8月9日(火)調印式、共同記者会見を実施

独立行政法人水産総合研究センター（理事長 松里壽彦）と国立大学法人横浜国立大学（学長 鈴木邦雄）は海洋科学技術等に関する包括連携協定を締結いたします。

本協定は、近接した立地のメリットも活かし、包括的な連携のもとで、両機関の研究開発基盤や人的資源をベースとして、共同研究や教育及び人材育成・交流等を促進するため相互に協力することを定めたものです。これにより両機関の研究・教育活動がより活発化し、水産・海洋科学技術分野における研究開発等の推進に資することが期待されます。

■包括連携協定調印式と記者会見の概要

●調印式

日 時:平成23年8月9日(火)

10:30～11:00

会 場:水産総合研究センター 会議室1・2

横浜市西区みなとみらい2-3-3 クイーンズタワーB棟15階

締結者:【水産総合研究センター】松里 壽彦(まつさと としひこ)

【横浜国立大学】 鈴木 邦雄(すずき くにお)

連携・協力のおもな内容

- (1) 共同研究等の研究開発協力に関すること。
- (2) 教育及び人材育成・交流に関すること。
- (3) 産学連携・社会貢献に関すること。
- (4) 施設・設備などの相互利用に関すること。
- (5) その他両法人が必要と認めること。

包括連携協定で期待される効果

水産総合研究センターは、水産に関する基礎から応用、実証まで一貫した研究開発を総合的に行っています。横浜国立大学は、2007年6月には部局横断的な文理融合型組織である統合的海洋教育・研究センター(略称:海センター)を設立し、科学、工学、環境、政策・法制などの様々な分野から海洋に関する総合的な教育研究を実施しています。

これまで、両機関は個別の課題について研究協力を実施してきましたが、このたびの協定締結によって組織的な連携体制が構築されることにより、水産資源管理、環境変動、海洋生態、海洋科学技術さらには水産・海洋政策など社会科学面も含めた広範な研究分野において一層の協力が見込まれます。さらに、地理的なメリットを生かした共同研究の推進、学生の受入れ・研究指導など教育や若手人材の育成が促進され、我が国の水産・海洋科学技術の発展に貢献することが期待されます。

●記者会見(調印式終了後)

日 時:平成23年8月9日(火)

10:50～(予定)

会 場:水産総合研究センター 会議室1・2

横浜市西区みなとみらい2-3-3 クイーンズタワーB棟15階

※出席予定の報道機関の方は事前(8月8日(月)PM5:00まで)に、水産総合研究センター広報室  
(電話:045-227-2615)までご連絡ください。

<本件についてのお問い合わせ先>

独立行政法人水産総合研究センター 研究開発交流コーディネーター 小野 郁夫 TEL: 045-227-2693  
国立大学法人横浜国立大学 環境情報研究院 松田 裕之 TEL: 045-339-4362